

令和5年度

学校要覧



広島市立本川小学校

〒730-0802 広島市中区本川町一丁目5-39

☎(082)232-3431 FAX(082)234-0910

E-mail:honkawa@e.city.hiroshima.jp

1. 学区の概要

広島市を流れる太田川の本流本川と、分流天満川が挟む三角州の中間に位置する七つの町を学区としています。

天満橋から本川橋への通りは、昔の山陽道で、本川河岸には、舟着場としてのがんぎがいくつもありました。十日市は市場町の名残であり、堺町問屋街をはじめ、昔からの商業地域として栄えてきました。

昭和20年8月6日の原爆は、本校の東350m、高度約600mの上空でさく裂し、一瞬にして焼土と化しました。しかし、戦後はいち早く復興し、市場、問屋、小売店が軒を連ね、戦前以上の繁栄をもたらしました。それを裏づけるかのように、児童数は昭和34年には、1700人を超えました。その後、住宅を郊外に移す者が多くなり、いわゆるドーナツ化現象をきたし、児童数は激減してきました。令和5年5月現在、児童数は396名です。本川を隔てた平和記念公園は年々緑が深まり、原爆ドームのたたずまいと、朝夕の平和の鐘の音は、平和への心をよびさまさせています。

2. 学校の沿革

明治	6年	1月	創立（造成舎を妙頂寺に開設）	62年	6月	被爆校舎撤去	新校舎建築	
	9年		第七番小学、本川学校と改称		9月	造形砂場完成		
	12年		本川小学校と改称	63年	4月	平和資料館・給食棟・東校舎完成		
	23年		本川尋常小学校と改称	平成	2年	4月	改築プール完成	
大正	6年	6月	校章（帽章）決定 （旭日に桜花を配したのは、 「敷島の大和心を人とわば、 旭日に匂う山桜花」の精神に 則るためである）		3年	4月	広島市教育研究推進校	
					4年	10月	第30回全国小学校社会科研究 協議会会場	
	12年		本川尋常高等小学校と改称		7年	3月	体育館増改築工事完了	
昭和	3年	7月	広島市で最初の鉄筋コンクリー ト3階建校舎完成 校歌制定		11月	1月	本川地区原爆慰霊碑建立	
	11年	4月	児童数約960名		9年		本川音頭完成	
	16年		広島市本川国民学校と改称	10年	9月	平和資料館入館者数十万人超え		
	20年	4月	3年生以上の児童、備後十日市 国民学校・八次国民学校に集団 疎開	11年	3月	スロープ・点字ブロック・階段 手すり完成		
		8月	原子爆弾のため、鉄筋の校舎建 物を残すほか、全焼 学校長ほか十数名、残留児童約 400名死亡	12年	10月	第9回全国小学校生活科教育研 究協議会全国大会会場		
	21年	2月	授業再開 広瀬学区を含め、教員4名 児童45名	13年	4月	弱視通級指導教室開設		
	22年	4月	広島市立本川小学校と改称	15年	1月	創立130周年記念式典		
	25年		平和都市記念学校として文部省 より指定される	16年	9月	正門改修工事		
	26年	10月	第6回国民大会レスリング会場 となる 天皇・皇后両陛下、三笠宮殿下 ご来校 記念樹植樹 秩父宮妃殿下ご来校 記念樹植樹	17年	3月	本川被爆体験集「ねがい」完成		
		11月	西校舎・講堂の落成式		8月	平和記念式典児童代表「平和へ の誓い」宣言		
	29年	6月	外柵工事終了	18年	3月	被爆桜・ヒロシマエハ ^マ ヤマザクラ植樹		
		10月	管理校舎完成		11月	第57回造形表現・図画工作・ 美術教育研究全国大会会場		
	32年	5月	南校舎完成	19年	7月	被爆手水鉢設置		
	34年	5月	児童数1729名	21年	9月	ニワウルシ補強		
	35年	12月	給食室新築・移転	22年	7月	広島県産業奨励館バルコニーの 柱引き上げ（資料館展示）		
	36年	10月	東校舎特別教室改築、音楽室・ 理科室・家庭科室完成	23年	11月	第49回 中・四国小学校体育 研究大会ひろしま大会会場		
	37年	7月	プール落成	24年	3月	西校舎耐震工事（エアコン設置）		
	41年	8月	岩石園造成 障害児学級開設		8月	被爆樹（アラカシ・クス）植樹		
	43年	10月	明治100年記念事業として、 国旗掲揚塔完成	25年	1月	創立140周年記念式典 記念誌発行 児童数379名 記念講演（山本浩二氏）		
	45年	6月	平和教育資料室設置の準備	26年	1月	「ニワウルシさようならの会」		
	48年	1月	創立100周年記念式典 記念誌・児童文集発行 記念碑（校訓）除幕式		9月	山海島体験活動 国立三瓶青少年交流の家 島根県邑智郡邑南町 民泊		
	49年	9月	視聴覚教育研修室完成 「平和学習」が始まる	27年	8月	巡回ラジオ体操 会場		
	51年	8月	講堂を体育館へ改装工事完了		11月	第54回全国学校体育研究大会 広島大会会場		
	52年	9月	体育倉庫・指導員室・更衣室 シャワー室竣工	28年	3月	南校舎増・改修工事着工		
	54年	4月	弱視教室開設		11月	南校舎完成		
	56年	9月	給食調理室改修	29年	4月	授業改善推進校（広島市教育委員会） 活用型授業研究校指定		
	57年	11月	第10回中国地区小学校社会科 研究協議会会場		10月	画家原広司様より原爆ドームの絵寄贈		
	59年		校内電話設置 ハノーバー市姉妹校と交流開始	30年	4月	授業改善推進校（広島市教育委員会） 活用型授業研究校指定		
		1月	第25回弱視教育研究全国大会会場		5月	平和の庭モニュメント除幕式		
	60年	3月	校地外周緑化工事終了	令和	元年	5月	ギューリック3世夫妻来校 新青い目の人形寄贈	
						8月	長崎・広島両市長来校長崎市 より被爆クスノキ寄贈	
				令和	2年	2月	永井博士の平和のバラ植樹	
						3月	居森清子さんのパネル設置	
					12月	12月	吉岡澄子様からの展示ケース設置 尾形静子先生のパネル、手記設置	
				令和	3年	11月	教科等研究校公開研究会	
				令和	4年	11月	授業改善実践研究校公開研究会	
				令和	5年	1月	創立150周年記念式典 市長松井一實より絵画「巡る想」 「コロナ禍の日々」受贈	

3. 機構と運営

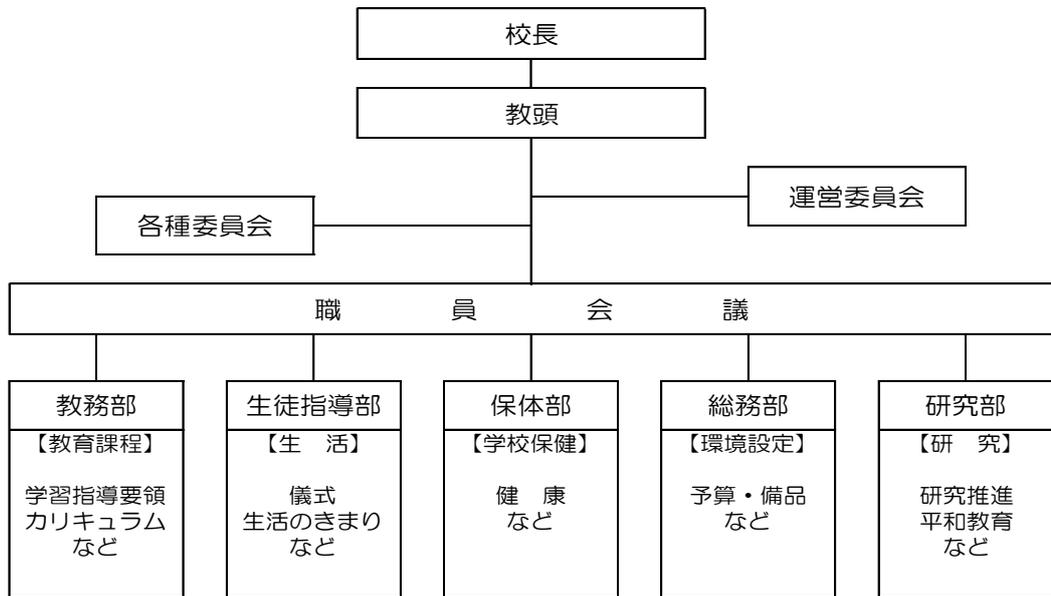
(1) 在籍児童数（5月1日現在）

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支（知的）	特支（自・情）	合計
学級数	2	2	2	3	2	2	1	2	16
児童数	56	64	67	77	63	53	6	10	396

(2) 教職員構成（校長 築地 陽子）

校長	教頭	教諭	初任者指導	指導員	養護教諭	事務職員	業務員
1	1	21	1	1	1	2	1
給食調理員	ふれあい推進員 学習サポーター	英語専科	初任者後補充	スクールカウンセラー	図書司書	スクールサポートスタッフ	
6	4	1	1	1	1	1	

(3) 学校経営組織



4. 学校経営方針

(1) 学校教育目標

心豊かでたくましく、平和を求める子どもの育成

(2) めざす子ども像

校訓 「やさしく つよく まじめに」

- 命を大切にし、人を思いやる子 [やさしく]
- 強い意志をもち、正しい判断ができる子 [つよく]
- 自分の役割を考え、その責任を果たす子 [まじめに]

(3) めざす学校像

- 被爆の実相を伝え、平和を希求する学校
- 「主体的・対話的で深い学び」を創る学校
- 地域に開き、地域とともに歩む学校



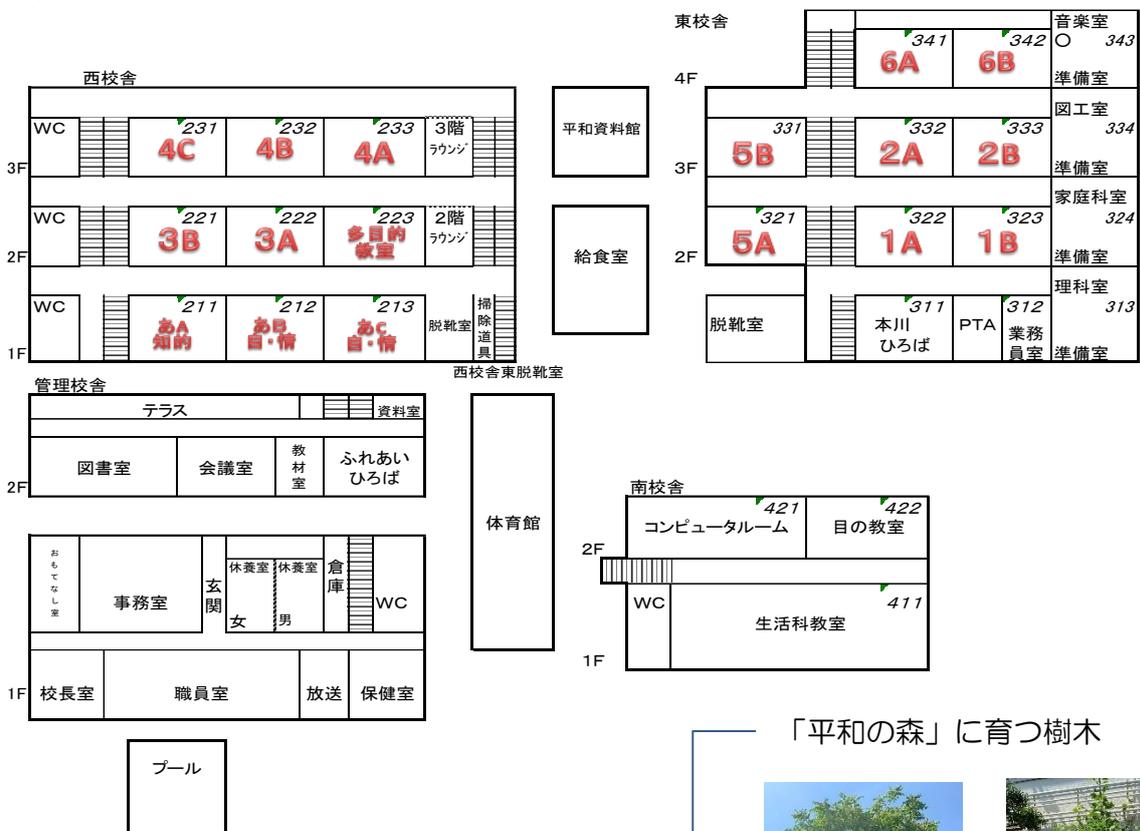
5. 本川小学校平和資料館

本川小学校は、昭和20年(1945)8月6日の原子爆弾の投下の際、爆心地に最も近い学校として大きな被害を受けました。校舎は、外部を残して全焼、壊滅し、約400名の子どもたちと校長ほか10名の教職員の尊い命が一瞬のうちに奪われました。

この「平和資料館」は、昭和3年に広島で初めて建てられた鉄筋3階建ての校舎で、昭和63年まで使っていた、その一部ですが、原爆の被害を受けた状態をそのまま残し被爆の「証」として保存することにしました。「展示室」には、被害の様子を写した写真ははじめ、被爆した遺物などを展示しています。資料の一つ一つには、多くの人々の悲しみや願いが秘められています。平成31年4月より、土曜日・日曜日にも開館日となりました。



6. 教室配置図



7. 校歌

三	二	一	
励行見 む手も 我は朗 等るか のかに の	そ睡陽 そびの そそ輝 立楽し つきは るは	そ大緑 そ余の そそ友 立ちの ち連山 たれ々	校 歌
学思舟川 舎歌波静 ぞを流か これ載る せて	本我心鏡 川等にあ 小学家と とふ る	我意真海 等気中は が高白帆 学占ら 舎かめ にて	作 曲 永 斉 井 藤 建 建 子 子 清 清 衛 衛

「平和の森」に育つ樹木

ニワウルシ2世 被爆イチョウ2世
 被爆クスノキ2世 被爆アラカシ など